

# 48

【第1特集】

## もう知らないふりはできない

# 絶望の非正規

### 50

フリーターを抜け出せない  
ルポ **氷河期世代の残酷な現実**

56 **データが物語る** 中年フリーター **273**万人の実態

58 非正規の増加は必然？ **日本型雇用慣行の歪み**

あなたの子供は大丈夫か

62 初就職は **4割が非正規** 狭くなる正社員への道

経験生かせず「ゼロリセット」に

72 一律3年で雇い止め 波紋広がる **派遣法改正**

女性活躍推進法は機能する？

74 妊娠後に6割が退職 **マタハラ横行の悲劇**

76 低い社会保険加入率、低賃金  
増え続ける非正規雇用 **課題解決への処方箋**

パートより待遇はいいが…

ユニクロ すき家

80 「週休3日制」「転勤なし」 **限定正社員の内実**

83 労組が守るのは正社員だけなのか？

消えない雇い止めの記憶

84 期間工が集まらない **トヨタの深刻な悩み**

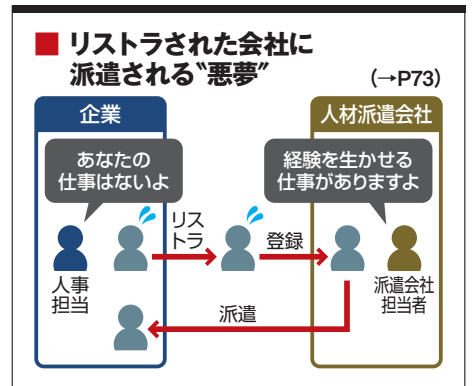
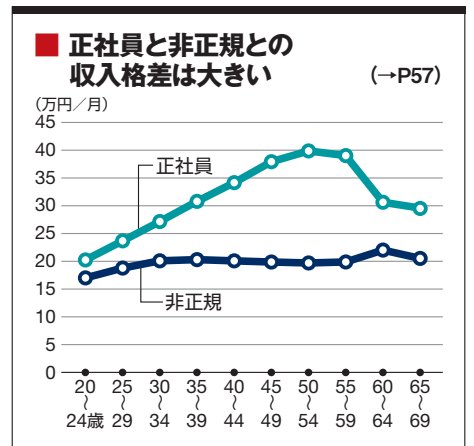
年収は正社員の半分以上

86 同じ仕事で大きな格差 **日本郵政のアキレス腱**

パート、契約社員が増えて企業業績は伸びたのか

88 **上場企業** 非正規の **増加・減少** ランキング

92 強まる外国人依存 技能実習制度の矛盾



- 9 | 経済を見る眼 | **ダイバーシティブームへの異論** / 三品和広
- 11 | この人に聞く | **東 哲郎** ● 東京エレクトロン社長 | **統合なしでも成長は可能**
- 33 | 少数異見 | **又聞きや伝統の軽視。学ばずに議論する戦後70年目の危うさ**

深層レポート

# 102 ワタミの失敗



客離れが止まらない居酒屋チェーン「和民」。収益柱である介護事業の売却に追い込まれるなど混乱が続く。かつてない危機を迎えるワタミはどこへ向かう。

- 108 | 知の技法 | **職場で実践できる「中期分析」の方法⑦** / 佐藤 優
- 110 | 中国動態 | **インドネシアの鉄道商戦 中国の勝因は「市場化」だ** / 田中信彦
- 112 | グローバルアイ | **EU難民対策には総合的な亡命制度が必要** / ジョージ・ソロスほか
- 114 | フォーカス政治 | **「経済優先」で再浮上狙うが改革スピードは遅い** / 星 浩
- 116 | 株式観測 | **FRBは利上げ見送りで米国景気の下振れを回避** / 重見吉徳
- 117 | 為替観測 | **日本銀行10月追加緩和でもドル円は大幅な円安にならず** / 佐々木 融
- 118 | 投資の視点 | **TPP | 食肉や農薬関連が上昇 小売りにも中期で注目**
- 119 | マクロウォッチ | **大企業の設備投資は期待どおりに復活するのか**
- 120 | ブックス&トレンズ | **「エンタテインメントの作り方」**を書いた貴志祐介氏に聞く ほか
- 129 | Readers & Editors | **読者の手紙、編集部から**
- 130 | 生涯現役の人生学 | **幕末の日露交渉** / 童門冬二



9 経済を見る眼  
三品和広



11 この人に聞く  
東 哲郎



112 グローバルアイ  
ジョージ・ソロス



120 ブックス&トレンズ  
「エンタテインメントの作り方」  
貴志祐介

- PR
- 5 **ビジネスアспект** エスイー/建設・建築市場に変革の予兆 環境防災のエスイーが準備する「コンクリート革命」の真相
  - 18 **BRIDGE** 佐賀県
  - 30 **BRIDGE** MUTOHホールディングス
  - 65 **ビジネスコア** セイコーエプソン

図表作成：小堺賢吾／杉本祐子  
本誌の記事は「日経テレコン」「G-Search」「ELNET」「FACTIVA」等のデータベースに収録されており、フリーキーワードで検索、購入できます。

核心レポート

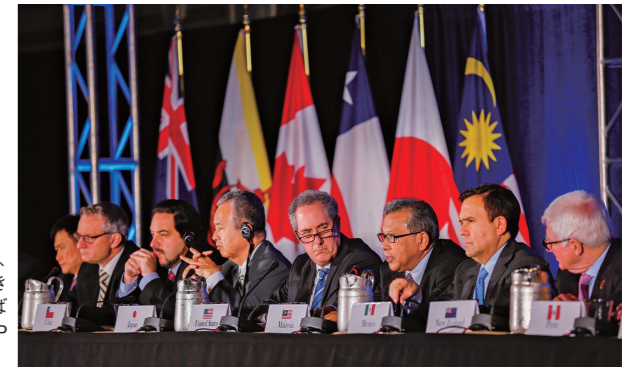
## 20 TPP大筋合意に隠れたコメ“実質無傷”の欺瞞

23 **インドネシア新幹線**  
真に敗れたのは誰か

24 **統合を前に弱みが露見**  
ユニー、必死の抵抗

26 **混戦のフリマアプリ**  
後発メルカリが爆伸

27 **味の素、日清が関係解消**  
海外展開で「すれ違い」



2016年初に署名、各国で承認手続きを経て、早ければ同年夏にもTPPが発効する

ニュース最前線

28 **鉄鋼**  
工場と建機で“異変”  
神戸鋼に2つの想定外

28 **アパレル**  
カジュアル衣料大手  
アダストリア復活の理由

29 **新技術**  
小泉進次郎も入れ込む  
自動運転の「現実味」

巻頭特集

# 34 日産・ルノー連合 2つの「死角」 ゴーン最後の決戦

資本提携から16年。日産・ルノー連合を束ねるカルロス・ゴーン社長は今、2つの難題に直面している。



深層レポート

## 94 僕たちは今日もデモへ行く!

酷暑が終わりを告げるころ、日本の中枢・国会議事堂前に市民が大挙して押し寄せた。この国のデモが力を持ち始めた。



NISSAN

DATSUN

**今**から16年前の1999年。今日のどのような事態をいつたい誰が想像したのだろうか。

2兆円の負債を抱え、存亡の淵に立っていた日産自動車は、進退窮まってフランスのルノーに出資を仰いだ。カルロス・ゴーンが日産のCOO（最高執行責任者、当時）として乗り込み、村山工場の閉鎖など大胆な荒療治に踏み切った。

しかし、その後の両社の道行きは対照的だ。V字回復を遂げた日産は売上高や台数を伸ばした一方、ルノーは成長の壁をなかなか突破できないでいる。かつての救世主・ルノーは、日産にとって今や「重荷」に転じつつあるように見える。

世界の自動車勢力図を見渡すと、日産・ルノー連合はいかにもユニークだ。フィアットがクライスラーを完全子会社化したように、資本提携には勝者と敗者が存在する。

しかし、日産とルノーの関係は、形式的にはルノーが日産の親会社ながら、出資比率は5割に満たない。オペレーション上はほぼ対等に、つかず離れずの関係を十数年継続している。だが、そのアライアンスは、ゴーンを頂点とした、微妙なバランスの上に成り立っている。

今、世界の自動車業界はドイツのフォルクスワーゲン（VW）による排ガス不正問題に大揺れだ。9月に発覚した不正は、次から次へと新事実が明らかになり、底知れぬ闇を見せる。トヨタ自動車とトヨタシエアを争っていたVWのつますきは、業界勢力図を大きく変えるトリガーになるかもしれない。

45歳で日産のトップに立ったゴーンも今や61歳。あと数年もすれば、後継者も含め、「カリスマ後の世界」が見えてくる。

再び波乱の時代に入った業界を、どう舵取りするのか。ゴーン最後の戦いを追った。

敬称略

日産・ルノー連合 2つの「死角」

# カルロス・ゴーン 最後の決戦

資本提携から16年。日産・ルノー連合を束ねるカルロス・ゴーン社長は今、2つの難題に直面している。

本誌：木皮透庸、山田雄大、山田徹也  
デザイン：熊谷直美 進行管理：鈴木 智

# 絶望の非正規

もう知らないふりは  
できない

今や労働者の3分の1を占めるまでに膨らんだ非正規。企業が調整弁として都合よく使ってきたツケは社会全体に跳ね返る。このままではよいのか。日本の歪みをあぶり出す。

本誌・中島順一郎、山本直樹、富岡耕、又吉龍吾、山田雄大  
ジャーナリスト・池上正樹 データ協力・田中久貴  
デザイン・池田梢 進行管理・三隅多季子 イラスト・岡田航也



# 僕たちは今日もデモへ行く!

深層  
リポート

酷暑が終わりを告げるころ、日本の中枢・国会議事堂前に市民が大挙して押し寄せた。この国のデモが力を持ち始めた。  
本誌：堀川美行

8月30日、国会前に集結したデモ参加者たち

安保闘争の歴史が終結したとき、気がつけば、世の中はその後のバブ

この国のデモの歴史は「暴力の歴史」と言い換えてもいい。象徴的な70年安保の後遺症は「デモアレルギ」という形で長く尾を引くことになる。高田が大規模デモのリーダーとして、平和活動の「表舞台」に再登場するまでには実に30年の歳月が必要だった。

**30年間尾を引いた安保闘争の後遺症**  
福島県での高校生時代にはもう60年安保闘争に参加した。上京後の70年代はベトナム反戦運動に飛び込む。暴力を辞さない左翼系組織のセクトや学生たちが機動隊と衝突を繰り返した。目の前を催涙弾が飛び交う。周囲では「内ゲバ」という血で血を洗うような内部抗争が続いた。「こんな活動では平和活動は発展しない」。高田の強い思いは狂気の渦の中でかき消されてしまう。

高田は「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の中心となって、市民団体などを束ねた。「文化人・連合系、共産党系、140近い市民団体、SEALDs

過去、数々のデモを主催した高田が半世紀以上の活動の末にたどり着いたのが、2015年8月30日という日だった。安全保障関連法案に反対する市民12万人（主催者発表）が東京・国会議事堂前に集結した。その歴史的な大規模デモを実現させたのが高田だった。

東 京・水道橋の古びた雑居ビル。読売ジャイアンツの試合やライブイベントでいつもこった返す東京ドームとは徒歩数分の距離である。その一室で男は一人黙々とパソコンのキーボードをたたく。周囲の喧噪は目に見えない厚い壁に遮られているようだ。男の作業を止めるのは、時々鳴り響く携帯電話の呼び出し音だけである。「〇〇時、〇〇前でけっこうです」。要件のみを伝えると通話を断ち切る。再び訪れる静寂。小刻みなキーボードの音が時計の秒針のように静かに響く。ある時間、ある場所で持てるエネルギーのすべてを放出しなければならぬ。そのためには十分な充電時間が欠かせないはずだ。高田健は今70歳を迎えた平和活動家である。活動歴はもう55年を数える。